

「多施設における自動算出早期警告スコアの評価

RRS システムでの活用」 について

加古川中央市民病院救急科では、聖マリアンナ病院とともに下記の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

【研究の目的】

病院に入院している患者様は、一般の方より状態の悪化・死亡の可能性が高く、より早期・事前に前兆をとらえて対応をする事が重要です。それには救急・集中治療部門などの医師・看護師が、緊急に一般病棟に出向き早期対応を行う院内救急対応システム(Rapid Response System：RRS) が有効とされています。この研究は、一般病棟において 24 時間体制で記録されている患者様のバイタルサインから算出した重症度スコアにより、患者様の状態悪化の前兆を検出し自動的に RRS を起動するシステムの開発を目的としています。

【研究実施期間】

病院長承認後～2026 年 12 月 31 日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2019 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間に、当院一般病棟に入院された 15 歳以上の下記のデータを診療録より収集いたします。

年齢、性別、身長、体重やバイタルサインの値（血圧・脈拍・体温・呼吸数・意識状態・酸素投与の有無）、入退院・予後情報、DNAR、意思表示の有無、傷病名、併存症

【個人情報保護の方法】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう研究対象者識別リストを作成し匿名化を行い、秘密保護に十分配慮します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常の診療の範囲内で得られた情報を用いており、データをご提供頂いた患者さん個人に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータ等の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、3階医局の施錠可能な場所で厳重に保管いたします。プリントアウトや外部へ記録持ち出しは行いません。また患者さん及びそのご家族等から参加拒否または同意撤回の申し出があった場合は、申出のあった研究対象者に関するデータをデータベース内からすみやかに削除・廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は論文や学会等で発表を行うことがあります。その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。ご自身のデータを本研究に用いたくない場合は、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。研究参加の取りやめの申し出を受けた場合は、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。ただしデータ使用の取りやめを申し出られた時点ですでに研究成果が学会発表や論文などで公表されている場合はそのデータは廃棄できません。

[問い合わせ窓口]

本研究に関することは下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 救急科

研究責任者名 切田 学

連絡先：079-451-5500